

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2025年1月10日まで (年2回決算型) 2015年4月10日から2025年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第12作成期

第65期(決算日2020年8月11日) 第68期(決算日2020年11月10日)
第66期(決算日2020年9月10日) 第69期(決算日2020年12月10日)
第67期(決算日2020年10月12日) 第70期(決算日2021年1月12日)

(年2回決算型)

第12期(決算日2021年1月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		債 券 組入比率	純資産 総 額
			分	期 中		
		円	配 金	騰 落 率	%	百万円
第8 作成期	41期(2018年8月10日)	8,834	45	1.0	88.0	63,632
	42期(2018年9月10日)	8,424	45	△4.1	88.1	60,337
	43期(2018年10月10日)	8,285	45	△1.1	87.4	58,347
	44期(2018年11月12日)	8,583	45	4.1	88.8	59,579
	45期(2018年12月10日)	8,727	45	2.2	91.2	59,719
	46期(2019年1月10日)	8,455	45	△2.6	88.0	57,251
第9 作成期	47期(2019年2月12日)	8,532	45	1.4	88.8	57,396
	48期(2019年3月11日)	8,704	45	2.5	90.3	57,488
	49期(2019年4月10日)	8,790	45	1.5	95.1	58,392
	50期(2019年5月10日)	8,565	45	△2.0	92.3	56,578
	51期(2019年6月10日)	8,663	45	1.7	88.1	57,266
	52期(2019年7月10日)	8,843	45	2.6	90.2	58,747
第10 作成期	53期(2019年8月13日)	8,291	45	△5.7	93.1	55,239
	54期(2019年9月10日)	8,419	45	2.1	93.5	55,832
	55期(2019年10月10日)	8,442	45	0.8	93.4	55,504
	56期(2019年11月11日)	8,535	45	1.6	92.2	55,398
	57期(2019年12月10日)	8,511	45	0.2	94.9	54,701
	58期(2020年1月10日)	8,582	45	1.4	94.8	54,897
第11 作成期	59期(2020年2月10日)	8,367	45	△2.0	92.4	52,391
	60期(2020年3月10日)	7,636	45	△8.2	93.6	46,790
	61期(2020年4月10日)	7,639	45	0.6	91.6	45,706
	62期(2020年5月11日)	7,672	45	1.0	90.7	45,103
	63期(2020年6月10日)	7,793	45	2.2	91.9	43,860
	64期(2020年7月10日)	7,849	45	1.3	89.9	42,331
第12 作成期	65期(2020年8月11日)	8,193	45	5.0	92.6	41,457
	66期(2020年9月10日)	8,324	45	2.1	93.0	39,999
	67期(2020年10月12日)	8,342	45	0.8	92.0	38,891
	68期(2020年11月10日)	8,200	45	△1.2	90.2	36,787
	69期(2020年12月10日)	8,162	45	0.1	91.7	35,796
	70期(2021年1月12日)	8,187	45	0.9	91.6	35,353

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
第65期	(期 首) 2020年7月10日	円 7,849		% —	% 89.9
	7月末	8,142		3.7	91.2
	(期 末) 2020年8月11日	8,238		5.0	92.6
第66期	(期 首) 2020年8月11日	8,193		—	92.6
	8月末	8,225		0.4	93.1
	(期 末) 2020年9月10日	8,369		2.1	93.0
第67期	(期 首) 2020年9月10日	8,324		—	93.0
	9月末	8,265		△0.7	92.0
	(期 末) 2020年10月12日	8,387		0.8	92.0
第68期	(期 首) 2020年10月12日	8,342		—	92.0
	10月末	8,187		△1.9	89.3
	(期 末) 2020年11月10日	8,245		△1.2	90.2
第69期	(期 首) 2020年11月10日	8,200		—	90.2
	11月末	8,167		△0.4	90.7
	(期 末) 2020年12月10日	8,207		0.1	91.7
第70期	(期 首) 2020年12月10日	8,162		—	91.7
	12月末	8,181		0.2	91.0
	(期 末) 2021年1月12日	8,232		0.9	91.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
8期（2019年1月10日）	円 10,240	円 0	% △0.8	% 88.2	百万円 18,922
9期（2019年7月10日）	11,050	0	7.9	90.3	20,316
10期（2020年1月10日）	11,072	0	0.2	95.0	19,766
11期（2020年7月10日）	10,486	0	△5.3	90.2	14,063
12期（2021年1月12日）	11,303	0	7.8	91.8	11,505

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
(期 首) 2020年7月10日	円 10,486	% —		% 90.2
7月末	10,878	3.7		91.2
8月末	11,049	5.4		93.3
9月末	11,164	6.5		92.3
10月末	11,117	6.0		89.7
11月末	11,151	6.3		91.3
12月末	11,233	7.1		91.7
(期 末) 2021年1月12日	11,303	7.8		91.8

(注1) 騰落率は期首比です。

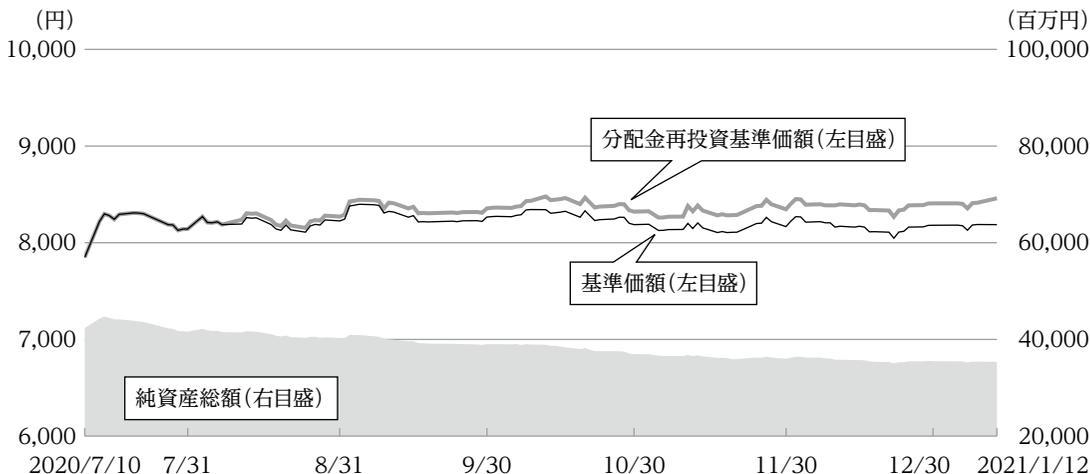
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2020年7月11日～2021年1月12日）



第 65 期 首	7,849円
第 70 期 末	8,187円（既払分配金270円）
騰 落 率	7.8%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

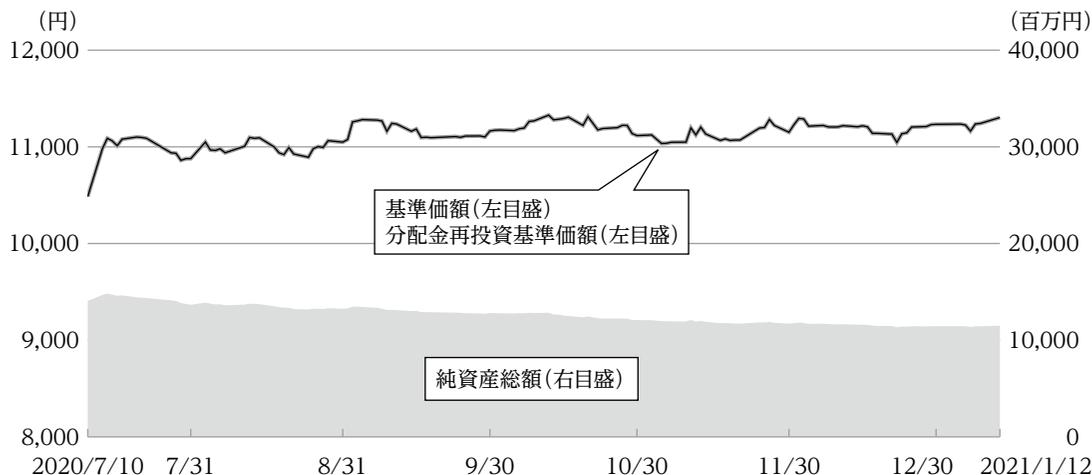
上昇要因

- ・債券価格の上昇（利回りは低下）。
- ・債券のクーポン収入（利金）。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2020年7月11日～2021年1月12日）



第12期首	10,486円
第12期末	11,303円（既払分配金0円）
騰落率	7.8%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券価格の上昇（利回りは低下）。
- ・債券のクーポン収入（利金）。

投資環境について

インド債券市場

当（作成）期初から2020年8月上旬までインド10年国債利回りは小動きとなりました。8月中旬に発表されたインドの消費者物価指数（CPI）上昇率が市場予想を大きく上回ったことや、金融政策決定会合の議事録の内容がタカ派的であったことなどを受けて、利回りは同月下旬にかけて急上昇（価格は下落）しました。9月初めにインド準備銀行（中央銀行、RBI）が債券市場支援策を発表したのち利回りは低下しましたが、国債の供給懸念から利回りは再び上昇し、その後は狭いレンジでの推移となりました。10月にRBIが国債買入オペの増額などを発表した後利回りは低下し、当（作成）期末まで狭いレンジで比較的落ち着いた動きとなりました。

為替市場

インドルピーは、当（作成）期初から2020年8月中旬まで対米ドルでレンジ内での推移となりました。8月中旬以降は外国人投資家によるインド株式市場への資金流入を受け、ルピーは対米ドルで上昇しました。その後、10月末から11月中旬にかけて欧州での新型コロナウイルス感染再拡大などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから対米ドルで下落しました。11月中旬以降はインド株式市場への外国人投資家の資金流入や足元での国際収支に改善が見られたことなどから買い戻しの動きとなり、当（作成）期末を迎えました。通期ではルピー高米ドル安となりました。

一方、円は投資家のリスク選好姿勢の強まりから当（作成）期を通じて円高米ドル安となりました。これを受けてルピーは通期で対円でやや下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連

の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。当（作成）期は、国債や石油・ガスセクター、港湾・空港セクターの銘柄の保有が主にプラス要因となりました。2020年10月の利回り低下時に長期の国債を売却したことから、当（作成）期のデュレーションはやや短期化しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）
（毎月決算型）

項目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2020年7月11日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月10日	2020年9月11日 ～2020年10月12日	2020年10月13日 ～2020年11月10日	2020年11月11日 ～2020年12月10日	2020年12月11日 ～2021年1月12日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.546	0.538	0.537	0.546	0.548	0.547
当期の収益 (円)	45	42	39	29	30	39
当期の収益以外 (円)	—	2	5	15	14	5
翌期繰越分配対象額 (円)	959	957	952	938	925	919

（年2回決算型）

項目	第12期
	2020年7月11日 ～2021年1月12日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,662

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

2020年のインド債券の利回りは、RBIの緩和的な政策スタンス、積極的な利下げ、潤沢な流動性などを背景に低下しましたが、2021年のインド債券市場はいくつかの転換点が予想されることから、ボラティリティが高まる可能性があるかとみています。RBIは緩和的な政策スタンスを継続する姿勢を示していますが、商品価格の上昇などを背景に追加利下げの可能性は低いと予想しています。

歴史的に見て、短期と中長期の債券のスプレッドは拡大した状態にあり、中期の社債に投資妙味があると考えています。引き続き、安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2020年7月11日～2021年1月12日)

項目	第65期～第70期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	71円	0.863%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,194円です。
（投信会社）	(34)	(0.420)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(34)	(0.420)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.016	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他）	(0)	(0.000)	納税に係る費用
合計	72	0.879	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

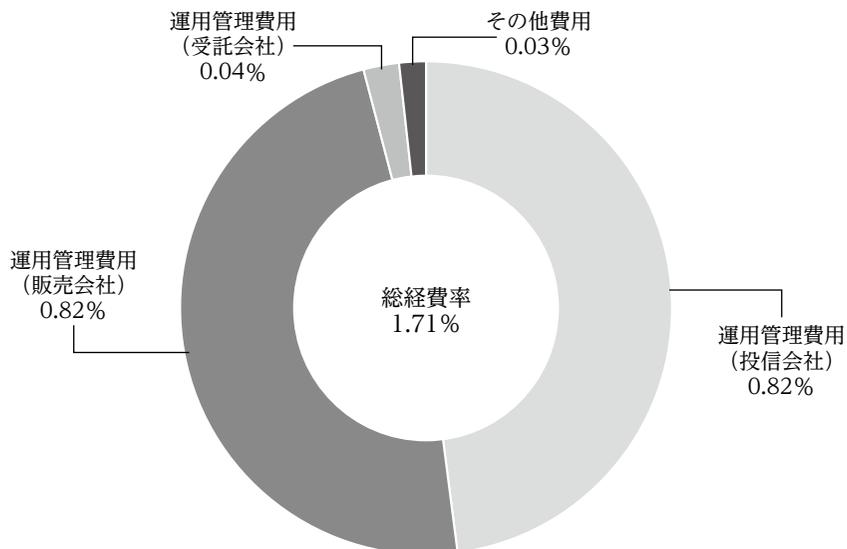
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 65 期 ～ 第 70 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	92,005	116,050	8,520,105	10,578,250

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2021年1月12日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第64期末)	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	36,446,799	28,018,698	35,603,359

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2021年1月12日現在の受益権総口数は、37,159,762千口です。

投資信託財産の構成

（2021年1月12日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	35,603,359	99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	142,901	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	35,746,260	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（46,018,502千円）の投資信託財産総額（47,369,043千円）に対する比率は97.1%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年1月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.23円、1インドルピー=1.43円です。

特定資産の価格等の調査

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2020年8月11日)	(2020年9月10日)	(2020年10月12日)	(2020年11月10日)	(2020年12月10日)	(2021年1月12日)現在
項 目	第 65 期末	第 66 期末	第 67 期末	第 68 期末	第 69 期末	第 70 期末
(A) 資 産	42,082,392,050円	40,808,891,006円	39,584,120,218円	37,231,632,159円	36,276,874,380円	35,746,260,063円
コール・ローン等	985,899	135,997	321,417	14,633,747	17,722,090	4,440,680
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	41,749,198,756	40,272,601,886	39,160,557,436	37,040,509,312	36,045,591,899	35,603,359,871
未 収 入 金	332,207,395	536,153,123	423,241,365	176,489,100	213,560,391	138,459,512
(B) 負 債	624,645,315	809,714,489	692,165,668	444,293,527	480,078,946	392,732,676
未 払 収 益 分 配 金	227,713,918	216,234,721	209,805,433	201,887,906	197,366,675	194,319,306
未 払 解 約 金	333,193,294	536,289,120	423,562,782	191,122,847	231,282,481	142,900,192
未 払 信 託 報 酬	63,536,085	56,799,242	58,204,031	50,506,233	50,463,850	54,338,750
未 払 利 息	2	—	—	42	51	13
そ の 他 未 払 費 用	202,016	391,406	593,422	776,499	965,889	1,174,415
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	41,457,746,735	39,999,176,517	38,891,954,550	36,787,338,632	35,796,795,434	35,353,527,387
元 本	50,603,093,086	48,052,160,393	46,623,429,597	44,863,979,252	43,859,261,115	43,182,068,073
次 期 繰 越 損 益 金	△ 9,145,346,351	△ 8,052,983,876	△ 7,731,475,047	△ 8,076,640,620	△ 8,062,465,681	△ 7,828,540,686
(D) 受 益 権 総 口 数	50,603,093,086口	48,052,160,393口	46,623,429,597口	44,863,979,252口	43,859,261,115口	43,182,068,073口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,193円	8,324円	8,342円	8,200円	8,162円	8,187円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第65期首元本額は53,931,578,971円、第65～70期中追加設定元本額は1,090,229,303円、第65～70期中一部解約元本額は11,839,740,201円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第65期0.8193円、第66期0.8324円、第67期0.8342円、第68期0.8200円、第69期0.8162円、第70期0.8187円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第65期（自2020年7月11日至2020年8月11日）、第68期（自2020年10月13日至2020年11月10日）
 第66期（自2020年8月12日至2020年9月10日）、第69期（自2020年11月11日至2020年12月10日）
 第67期（自2020年9月11日至2020年10月12日）、第70期（自2020年12月11日至2021年1月12日）

項 目	第 65 期	第 66 期	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,505円	△ 4,712円	△ 1,792円	△ 2,259円	△ 5,216円	△ 3,145円
支 払 利 息	△ 3,505	△ 4,712	△ 1,792	△ 2,259	△ 5,216	△ 3,145
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,025,974,523	899,183,293	346,930,097	△ 388,131,034	77,732,593	356,367,505
売 買 益	2,152,753,254	917,341,756	354,156,655	13,533,142	86,824,934	358,250,488
売 買 損	△ 126,778,731	△ 18,158,463	△ 7,226,558	△ 401,664,176	△ 9,092,341	△ 1,882,983
(C) 信 託 報 酬 等	△ 63,738,101	△ 56,988,632	△ 58,406,047	△ 50,689,310	△ 50,653,240	△ 54,547,276
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,962,232,917	842,189,949	288,522,258	△ 438,822,603	27,074,137	301,817,084
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 6,971,799,508	△ 4,956,903,474	△ 4,177,803,014	△ 3,905,437,906	△ 4,328,689,808	△ 4,344,155,773
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,908,065,842	△ 3,722,035,630	△ 3,632,388,858	△ 3,530,492,205	△ 3,563,483,335	△ 3,591,882,691
(配 当 等 相 当 額)	(3,676,690,746)	(3,494,198,179)	(3,379,600,630)	(3,228,613,841)	(3,101,021,425)	(2,996,574,938)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 7,584,756,588)	(△ 7,216,233,809)	(△ 7,011,989,488)	(△ 6,759,106,046)	(△ 6,664,504,760)	(△ 6,588,457,629)
(G) 計 (D+E+F)	△ 8,917,632,433	△ 7,836,749,155	△ 7,521,669,614	△ 7,874,752,714	△ 7,865,099,006	△ 7,634,221,380
(H) 収 益 分 配 金	△ 227,713,918	△ 216,234,721	△ 209,805,433	△ 201,887,906	△ 197,366,675	△ 194,319,306
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 9,145,346,351	△ 8,052,983,876	△ 7,731,475,047	△ 8,076,640,620	△ 8,062,465,681	△ 7,828,540,686
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,908,065,842	△ 3,735,483,362	△ 3,659,382,232	△ 3,598,337,138	△ 3,626,819,808	△ 3,617,090,978
(配 当 等 相 当 額)	(3,677,040,382)	(3,481,084,710)	(3,352,838,057)	(3,161,011,195)	(3,038,676,503)	(2,971,948,510)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 7,585,106,224)	(△ 7,216,568,072)	(△ 7,012,220,289)	(△ 6,759,348,333)	(△ 6,665,496,311)	(△ 6,589,039,488)
分 配 準 備 積 立 金	1,177,155,304	1,120,440,319	1,088,655,755	1,049,649,381	1,018,683,593	1,000,185,051
繰 越 損 益 金	△ 6,414,435,813	△ 5,437,940,833	△ 5,160,748,570	△ 5,527,952,863	△ 5,454,329,466	△ 5,211,634,759

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
 (注5) 分配金の計算過程

第65期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(236,315,586円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,677,040,382円)および分配準備積立金(1,168,553,636円)より、分配対象収益は5,081,909,604円(10,000口当たり1,004円)であり、うち227,713,918円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第66期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(202,786,989円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,494,532,442円)および分配準備積立金(1,120,440,319円)より、分配対象収益は4,817,759,750円(10,000口当たり1,002円)であり、うち216,234,721円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第67期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(182,812,059円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,379,831,431円)および分配準備積立金(1,088,655,755円)より、分配対象収益は4,651,299,245円(10,000口当たり997円)であり、うち209,805,433円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第68期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(134,042,973円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,228,856,128円)および分配準備積立金(1,049,649,381円)より、分配対象収益は4,412,548,482円(10,000口当たり983円)であり、うち201,887,906円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第69期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(134,030,202円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,102,012,976円)および分配準備積立金(1,018,683,593円)より、分配対象収益は4,254,726,771円(10,000口当たり970円)であり、うち197,366,675円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第70期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(169,111,019円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,997,156,797円)および分配準備積立金(1,000,185,051円)より、分配対象収益は4,166,452,867円(10,000口当たり964円)であり、うち194,319,306円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
1万口当たり分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

（2020年7月11日～2021年1月12日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	96円	0.863%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,098円です。
（投信会社）	(47)	(0.420)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(47)	(0.420)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.023	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(1)	(0.006)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他）	(0)	(0.000)	納税に係る費用
合計	99	0.886	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

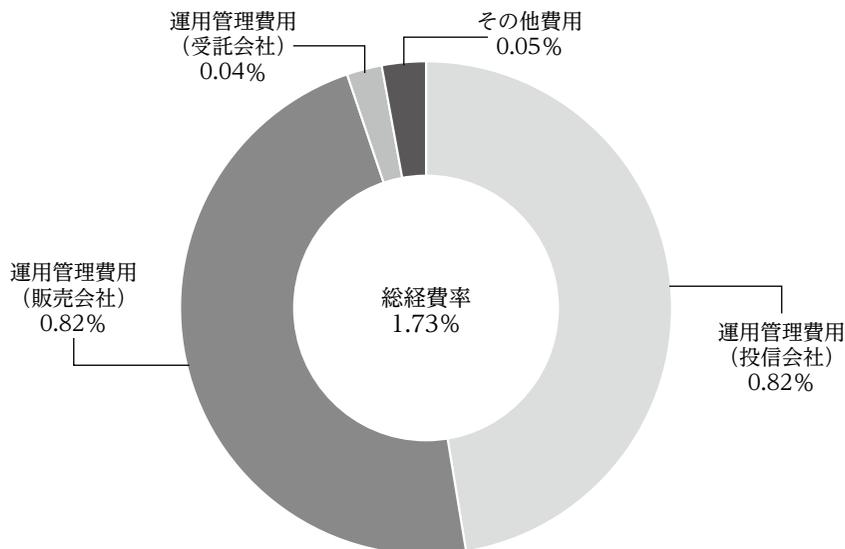
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

売買及び取引の状況

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 227	千円 285	千口 2,997,987	千円 3,715,705

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2021年1月12日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 12,138,824	千口 9,141,064	千円 11,615,550

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2021年1月12日現在の受益権総口数は、37,159,762千口です。

投資信託財産の構成

（2021年1月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 11,615,550	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,642	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	11,630,192	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（46,018,502千円）の投資信託財産総額（47,369,043千円）に対する比率は97.1%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年1月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.23円、1インドルピー=1.43円です。

特定資産の価格等の調査

（2020年7月11日から2021年1月12日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年1月12日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,630,192,009円
コール・ローン等	2,355,002
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	11,615,550,718
未 収 入 金	12,286,289
(B) 負 債	125,062,518
未 払 解 約 金	14,641,291
未 払 信 託 報 酬	109,246,806
未 払 利 息	6
そ の 他 未 払 費 用	1,174,415
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	11,505,129,491
元 本	10,178,539,110
次 期 繰 越 損 益 金	1,326,590,381
(D) 受 益 権 総 口 数	10,178,539,110口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	11,303円

- (注1) 元本の状況
 期首元本額 13,411,169,116円
 期中追加設定元本額 78,772,831円
 期中一部解約元本額 3,311,402,837円
- (注2) 1口当たり純資産額は1,1303円です。
- (注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2020年7月11日 至2021年1月12日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,282円
支 払 利 息	△ 4,282
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	930,309,548
売 買 益	1,117,565,385
売 買 損	△ 187,255,837
(C) 信 託 報 酬 等	△ 110,421,221
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	819,884,045
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	20,232,127
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	486,474,209
(配 当 等 相 当 額)	(1,407,914,310)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 921,440,101)
(G) 計 (D + E + F)	1,326,590,381
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,326,590,381
追 加 信 託 差 損 益 金	486,474,209
(配 当 等 相 当 額)	(1,408,169,711)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 921,695,502)
分 配 準 備 積 立 金	2,319,446,246
繰 越 損 益 金	△ 1,479,330,074

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
- (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(329,773,146円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,408,169,711円)および分配準備積立金(1,989,673,100円)より、分配対象収益は3,727,615,957円(10,000口当たり3,662円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日：2021年1月12日）
（計算期間：2020年1月11日～2021年1月12日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第6期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		債券組入比率	純資産総額
		騰落率	騰落率		
2期(2017年1月10日)	円 11,158	% 9.0	% 87.9	% 87.9	百万円 52,967
3期(2018年1月10日)	12,074	8.2	90.9	90.9	90,147
4期(2019年1月10日)	11,163	△7.5	87.4	87.4	76,725
5期(2020年1月10日)	12,259	9.8	94.2	94.2	75,199
6期(2021年1月12日)	12,707	3.7	91.0	91.0	47,218

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2020年1月10日	円 12,259	% —	% 94.2	% 94.2
1月末	11,922	△2.7	91.5	91.5
2月末	12,015	△2.0	93.8	93.8
3月末	11,424	△6.8	90.6	90.6
4月末	11,226	△8.4	91.0	91.0
5月末	11,425	△6.8	91.9	91.9
6月末	11,582	△5.5	93.0	93.0
7月末	12,145	△0.9	91.2	91.2
8月末	12,351	0.8	93.0	93.0
9月末	12,495	1.9	91.9	91.9
10月末	12,459	1.6	89.2	89.2
11月末	12,513	2.1	90.7	90.7
12月末	12,621	3.0	90.9	90.9
(期末) 2021年1月12日	12,707	3.7	91.0	91.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額の推移について

(2020年1月11日～2021年1月12日)



第6期首	12,259円
第6期末	12,707円
騰落率	3.7%

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



- ・債券価格の上昇（利回りは低下）。
- ・債券のクーポン収入（利金）。

投資環境について

インド債券市場

期初から2020年3月上旬までインド10年国債利回りは低下（価格は上昇）傾向となりました。3月前半から4月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大を受け、経済への影響を軽減することを目的とした利下げ期待と景気刺激策の財源調達に伴う財政悪化懸念などを背景に利回りは大きく上下しました。5月以降は比較的落ち着いた動きとなりました。しかし、8月中旬に発表されたインドの消費者物価指数（CPI）上昇率が市場予想を大きく上回ったことや、金融政策決定会合の議事録の内容がタカ派的であったことなどをを受けて、利回りは同月下旬にかけて急上昇しました。9月初めにインド準備銀行（中央銀行、RBI）が債券市場支援策を発表したのち利回りは低下し、10月にRBIが国債買入オペの増額などを発表すると、更に低下しました。その後は期末にかけて狭いレンジで比較的落ち着いた動きとなりました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄

為替市場

インドルピーは、2020年3月上旬から4月下旬にかけて新型コロナウイルス感染拡大の世界経済への影響の懸念からリスク回避姿勢が強まり対米ドルで急落しました。その後は持ち直し7月上旬にかけて狭いレンジでの推移となりました。8月中旬以降は外国人投資家によるインド株式市場への資金流入を背景に上昇し、欧州での感染再拡大などをを受けて下落する場面もありましたが、11月中旬以降はインド株式市場への外国人投資家の資金流入や足元での国際収支に改善が見られたことなどをから買い戻しの動きとなり、期末を迎えました。通期ではルピー安米ドル高となりました。

一方、円は対米ドルで3月中旬にリスク回避姿勢の強まりから大幅に円高となったもののすぐに回復しました。その後は投資家のリスク選好姿勢の強まりから期を通じて緩やかな円高米ドル安傾向となりました。これを受けて通期でルピーは対円では下落しました。

柄選択により、運用を行いました。当期は、石油・ガスセクターや通信セクターの銘柄の保有が主にプラス要因となりました。2020年10月の利回り低下時に長期の国債を売却したことから、当期のデュレーションはやや短期化しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

今後の運用方針について

2020年のインド債券の利回りは、RBIの緩和的な政策スタンス、積極的な利下げ、潤沢な流動性などを背景に低下しましたが、2021年の債券市場では、いくつかの転換点が予想されることからボラティリティが高まる可能性がありますとみています。RBIは緩和的な政策スタンスを継続する姿勢を示していますが、商品価格の上昇などを背景に追加利下げの可能性は低いと予想しています。

歴史的に見て、短期と中長期の債券のスプレッドは拡大した状態にあり、中期の社債に投資妙味があると考えています。引き続き、安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2020年1月11日～2021年1月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	4円	0.034%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、12,014円です。
(保管費用)	(4)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.002)	インドの税務代理人に対する手数料等
(その他)	(0)	(0.000)	納税に係る費用
合計	4	0.034	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買及び取引の状況

(2020年1月11日から2021年1月12日まで)

公社債

			買付額	売付額
			千インドルピー	千インドルピー
外 国	イ ン ド	国債証券	3,056,435	4,726,713
		特殊債券	1,036,847	(280,157 20,000)
		社債券（投資法人債券を含む）	1,480,569	(15,231,928 909,125)

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2020年1月11日から2021年1月12日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2021年1月12日現在)

公社債

(A) 種類別開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イ ン ド	千インドルピー 27,110,800	千インドルピー 30,036,303	千円 42,951,913	% 91.0	% 4.3	% 52.0	% 23.0	% 16.0
合 計	27,110,800	30,036,303	42,951,913	91.0	4.3	52.0	23.0	16.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。

(注5) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は33.3%です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国 債 証 券	7.35% INDIA GOVT BOND	7.35	250,000	269,825	385,850	2024/06/22
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	7,750,000	8,594,750	12,290,492	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	19,000	20,550	29,387	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT	7.88	10,000	11,309	16,171	2030/03/19
特 殊 債 券 (除く金融債)	6.87% NABARD	6.87	250,000	255,723	365,685	2030/03/08
	7.43% NABARD	7.43	750,000	795,416	1,137,445	2030/01/31
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	538,779	770,454	2028/11/28
	8.83% EX-IM BANK OF IND	8.83	25,000	27,031	38,654	2023/01/09
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	112,680	161,133	2025/03/13
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	0% EMBASSY OFFC PARKS RE	—	1,000,000	1,207,590	1,726,853	2022/06/03
	2% TATA STEEL	2.0	670,000	1,183,463	1,692,352	2022/04/23
	7.55% INDIAN RAILWAY FIN	7.55	250,000	265,755	380,030	2029/11/06
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	371,387	531,083	2026/08/14
	7.7% NATL HIGHWAYS AUTH	7.7	550,000	587,923	840,730	2029/09/13
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,070,952	1,531,461	2026/10/28
	8.12% NHPC LTD	8.12	1,750,000	1,953,785	2,793,912	2029/03/22

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	55,408	79,233	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	110,994	158,721	2027/03/25
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	78,821	112,715	2025/02/09
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	351,107	502,083	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	1,250,000	1,385,285	1,980,957	2029/03/23
	8.45% INDIAN RAILWAY FIN	8.45	500,000	558,055	798,018	2028/12/04
	8.45% SIKKA PORTS & TERM	8.45	1,075,000	1,149,932	1,644,404	2023/06/12
	8.5% VEDANTA LTD	8.5	900,000	895,484	1,280,542	2021/04/05
	8.5% VEDANTA LTD	8.5	750,000	743,495	1,063,198	2021/06/15
	8.52% LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	110,354	157,806	2025/03/03
	8.55% TALWANDI SABO POWE	8.55	250,000	252,365	360,881	2021/04/23
	8.65% POWER FINANCE CORP	8.65	450,000	499,803	714,719	2024/12/28
	8.78% NHPC	8.78	50,000	54,308	77,661	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	21,824	31,209	2023/03/25
	8.85% AXIS BANK LTD	8.85	220,000	245,389	350,906	2024/12/05
	8.85% NHPC	8.85	10,900	10,943	15,649	2021/02/11
	8.85% NHPC	8.85	10,900	11,433	16,350	2022/02/11
	8.95% JAMNAGAR UTIL & PO	8.95	520,000	563,319	805,546	2023/04/26
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	2,100,000	2,292,202	3,277,849	2024/03/22
	9.15% COASTAL GUJARAT PO	9.15	750,000	781,782	1,117,949	2022/06/14
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	449,006	642,079	2024/08/06
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	125,000	127,230	181,940	2026/06/30
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	190,000	193,673	276,953	2026/12/31
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	24,000	24,532	35,081	2027/12/31
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	20,396	29,166	2024/09/22
	9.23% TALWANDI SABO POWE	9.23	150,000	153,255	219,155	2021/07/30
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	282,042	403,321	2024/09/04
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,075,369	1,537,778	2023/08/25
	HOUSING DEV FINANCE	7.78	250,000	271,559	388,330	2027/04/13
合 計					42,951,913	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2021年1月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	42,951,913	90.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,417,130	9.3
投 資 信 託 財 産 総 額	47,369,043	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(46,018,502千円)の投資信託財産総額(47,369,043千円)に対する比率は97.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年1月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=104.23円、1インドルピー=1.43円です。

特定資産の価格等の調査

(2020年1月11日から2021年1月12日まで)

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年1月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	47,890,143,719円
コール・ローン等	3,577,182,513
公 社 債(評価額)	42,951,913,883
未 収 入 金	550,518,254
未 収 利 息	794,999,231
前 払 金	11,030,222
前 払 費 用	4,499,616
(B) 負 債	671,849,759
未 払 金	521,100,000
未 払 解 約 金	150,745,801
未 払 利 息	3,958
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	47,218,293,960
元 本	37,159,762,800
次 期 繰 越 損 益 金	10,058,531,160
(D) 受 益 権 総 口 数	37,159,762,800口
1 万口当たり基準価額(C/D)	12,707円

(注1) 元本の状況

期首元本額	61,341,350,388円
期中追加設定元本額	207,222,341円
期中一部解約元本額	24,388,809,929円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	28,018,698,254円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	9,141,064,546円
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	0円
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	0円

(注2) 1口当たり純資産額は1,2707円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2020年1月11日 至2021年1月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,820,939,666円
受 取 利 息	3,822,292,768
支 払 利 息	△ 1,353,102
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,788,134,615
売 買 益	5,935,497,192
売 買 損	△ 8,723,631,807
(C) 信 託 報 酬 等	△ 19,719,026
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,013,086,025
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	13,857,746,974
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	45,693,463
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 4,857,995,302
(H) 計 (D+E+F+G)	10,058,531,160
次 期 繰 越 損 益 金(H)	10,058,531,160

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。